



特定非営利活動法人ビーンズふくしま 第18回定期総会を終えて

昨年度末から今年度にかけては、世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス感染症という、思いがけない出来事に翻弄された日々でした…いえ、現在も、そして、これからは、おそらく、「新しい生活様式」の中で日々を過していかなくてはならない状況です。

初めてのオンライン総会

今年度のビーンズふくしま定期総会は、令和2年6月28日(日)午前10時30分～12時、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、オンラインによる開催にチャレンジしました。オンラインによる視聴が難しい方には、委任状・書面議決書の提出による参加という形で、事前にお送りした議案書をもとに、意志表明をしていただきました。事前に議案に対しての賛成・反対を示していただく書面議決書の提出も今回初めての取り組みでしたが、提出された全員から賛成の意思表示をいただくことができました。

当日のオンラインによる参加は、正会員8名、法人スタッフ14名でした。遠方から参加された正会員の方からは、「今回直接参加は難しかったが、オンライン開催のおかげで参加できました」という声もいただきました。また、画面上ではありますが、参加した皆様のお顔を拝見しながら、ご意見等をいただ

けたことは、離れていながらも近くにいる感覚を持つことができました。

皆様から承認をいただいて

総会では、事務局から昨年度の活動報告と、今年度の活動計画を画面で共有しながら報告し、会員の皆様の承認をいただくことができました。

皆様からご意見やご質問をいただく中で、あらためて利用者の方との関係を丁寧に着ていくことが、また、地域の関係機関との繋がりを強めていくことが、ひとりひとりを支え、エンパワメントすることに繋がるのだと感じました。

今、ビーンズふくしまは、子どもたち・若者たちが、そしてご家族が孤立感を持つことなく生きていくことができる社会を創ること、そういう役割を期待されているのだと、あらためて感じ、今年度もスタッフと共に、そして地域の皆様と共に取り組んでいきたいと思っております。

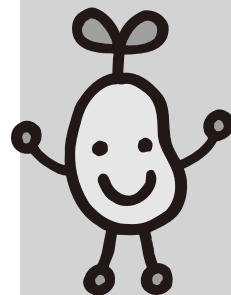
今年度も、ご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

役員改選期にあたり

今総会は、役員の改選期にあたり理事の交代がありました。

2年間理事としてお世話になりました松下行則さんが任期満了に伴い退任されることとなりました。お忙しい中大変

ビーンズ通信 vol.100



●発行日/2020年7月10日

●発行元

特定非営利活動法人

ビーンズふくしま

〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F

TEL&FAX 024-563-6255

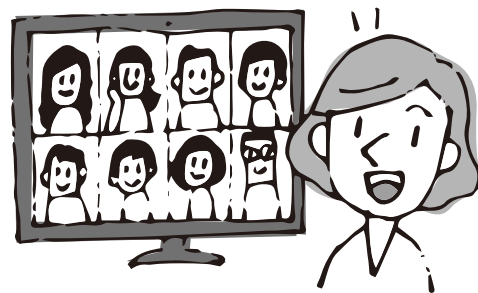
URL <http://www.beans-fukushima.or.jp/>

E-mail info@beans-fukushima.or.jp

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

お世話になり、ありがとうございました。

そして、それに伴い、新しく車田由美子さんが理事に就任されましたので、どうぞよろしく願いいたします。



新しい理事の紹介



一般社団法人 脳神経疾患研究所
看護小規模多機能型居宅介護事業所
結の学校

車田由美子

寄り添って…

今、立ち止まり振り返ると、たくさんの方々に支えられ今があることに、感謝の気持ちでいっぱいになります。

私たちは、人との関わりの中で生きています。地域・職場・学校・家族…。

私も、それぞれの関わりの中で、迷い、考え…そして一歩踏み出す。踏み出せない時は、誰かを頼り、背中を押してもらおう。そんな風に歳を重ねてきました。前に進めなくなった時の自分…。独りぼっちで、曇り空。

今にも雨が降り出しそうな時、「あなたらしいね」…とそっと寄り添ってもらえた時、一瞬で暗い雲が消えて、真っ青な空が広がった時の事を思い出します。そして、少しずつ自分自身を大切に思えるようになりました。

これからは、私を支えてくださった方々のように、どなたかに寄り添い…少しでも晴れやかな気持ちになっていただけるよう、尽力させて頂ければと…理事をお引き受けいたしました。どうぞよろしく願いいたします。

「風通しの良い職場」づくりを目指して ハラスメントの予防対策への取り組み

ビーンズふくしまは、ビジョンとして『子ども若者が自ら望む姿で繋がることができる社会をつくる』ことを掲げています。これはすべての人々の多様な生き方を認め、それを基本的な人権として大切にすることが基本にあります。

職場においても、スタッフや利用者のもとより、関係するすべての人たちが互いに尊重し合える、安全で快適な環境が保証されなければなりません。ハラスメント行為は人権にかかわる問題であり、人の尊厳を傷つけ、職場環境の悪化を招く深刻な問題です。

ビーンズふくしまでは、スタッフと共に、ハラスメント行為のない職場づくりをめざし、ルールを決め、実態を把握し、研修を実施し、相談体制を整えることを決めました。

このメッセージを昨年末、法人内に発信すると共に、ホームページにも掲載し、ハラスメント予防対策の取り組みを開始しました。その後、就業規則の改定、スタッフ研修、スタッフアンケートの実施、相談体制実施に向けてのガイドライン作成と取り組みを進めています。

ハラスメント対策として、まず取り組んだのは、理事の研修会への参加

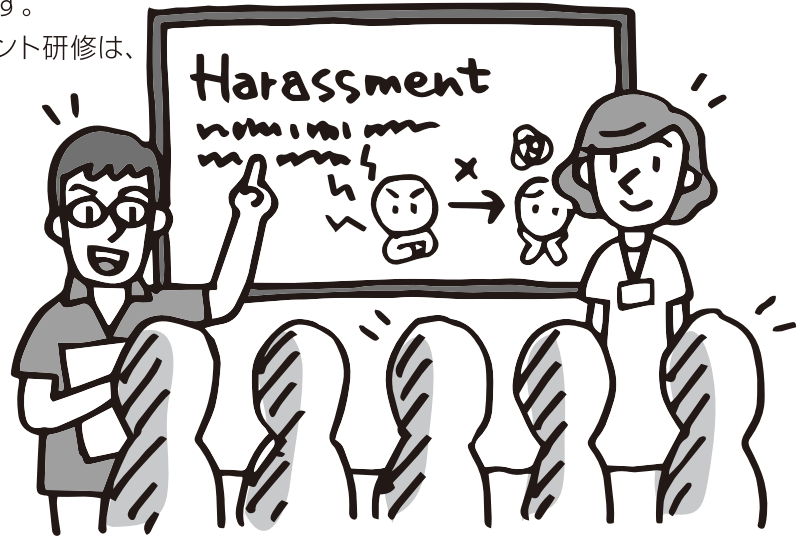
でした。その中で、様々なハラスメントの存在を学び、それを解決するためには、予防対策のしくみを創ると同時に、「風通しの良い職場」づくりが重要であることを学びました。

子どものいじめに関しては、多くの取り組みがなされています。いじめの相談件数の増加は、子どもたちが声を上げられるようになったことを表わしているのだと思います。残念ながら、大人社会にもいじめのような状況があることは、様々な報道を通して周知の事実です。ハラスメントをしている意識のないまま、ストレスのほけ口として、またジェンダー意識の持てなさから起きている現状があるのだと思います。

ハラスメント研修は、

自分の気づきになると同時に、職場の雰囲気が良くない、と感じたときに、なぜなのかを考える機会にもなります。今回、スタッフ全員に研修を受けてもらい、その中で各自が学んだこと、感じたことを共有する場を持たせたことは、「風通し良い職場」に近づくために、各個人のできることを考える良い機会となりました。

相談体制を整えることで問題が浮上するかもしれません。しかし、それは決して悪いことではなく、法人の目指す目的を実現していくためにも必要なことだと思っています。そのために、今後も前向きに働き方改革に取り組んでいきたいと思っています。



<p>どうぞよろしく!! ビーンズの新しい仲間たちです!</p> 	<p>私はアートが好きで、鑑賞以外にコラージュもしています。支援者研修担当として研修内容の充実に努めます。</p>  <p>ふくしま子ども支援センター ひろせ りょう 廣瀬 睦</p>	<p>学習支援では楽しめるよう雑学満載です。趣味のパラグライダーでは風に乗ってオン・オフ切り替えています。</p>  <p>子どもの学習支援事業 東北相双 またがわ けいたろう 侯川慶太郎</p>	<p>趣味は、花を摘んで飾ることや写真を撮ることです。子ども達と一緒に楽しく学びたいと思います。</p>  <p>子どもの学習支援事業 東北相双 すがの せいこ 菅野聖子</p>
<p>4月に青森市から引っ越してきました。福島での食・文化・人との出会いを楽しみに過ごしていきたいです。</p>  <p>ひきこもり支援センター ひやかわ めい 早川芽以</p>	<p>最近のブームはきれいな景色を観に行くこと。あたたかいメッセージを伝えられる相談員を目指しています。</p>  <p>福島県中・県南地域 若者サポートステーション あいた えり 相田 恵里</p>	<p>絵を描くことや何かを作ることが大好きです。子どもたちと色々な造形活動をしていきたいと思っています!</p>  <p>フリースクール ビーンズふくしま たかはし かな 高橋 花帆</p>	<p>元気な男の子のチワワを飼っています。毎日食べるくらいアイスが好きで、今年の夏もアイスで乗り切ります。</p>  <p>放課後児童クラブ みんなの家 ながさわ あい 長澤 愛</p>